

中長期戦略と将来ビジョン策定のために。

# 未来予測2035

レポート&デジタルサービス

INTRODUCTION



株式会社アクアビット

[www.aquabit.co.jp](http://www.aquabit.co.jp)

## 第1章 はじめに

## まえがき

- 「未来予測レポート」とは何か？
- なぜ「未来」を考える必要があるのか？
- 「未来予測レポート」の使い方

## 第2章 総論

## 第四次産業革命としての「クラウドロニクス」

- 「クラウドロニクス」とは？
- 「人工知能」～スーパーコンピューターが実現するデジタル「頭脳」
- 「IoT」～人工知能が「神経」「目口耳」を得る
- 「ロボット」～人工知能が「手足」を獲得

## 21世紀の社会を創るメガトレンド

- 21世紀社会を創るメガトレンド
- 「ハイパー・メッシュネットワーク」
- 「サステイナビリティ」
- 「ライフ・イノベーション」

## 社会・経済環境

- 絶対的リーダー不在、自由主義・民主主義のゆらぎ
- 世界共通ルールは、環境から「SDGs」へ
- 「持つ国」と「持たざる国」、パワーバランスの変化
- ハイパー・グローバル企業と国家の力が逆転

## 産業の枠組み、ビジネスの前提やルールが変わる

- 21世紀を創る注目のテクノロジー
- 21世紀産業の全体像
- クラウドロニクス・サービス産業群
- 「クラウドロニクス・プラットフォーム」～人工知能を核とする独自経済圏
- 「トリプル・ペロシティ」～商流・物流・金流の変化
- 社会基盤産業群

## 特に大きな変化が予想される産業分野

- 自動車、エネルギー
- 小売、決済、広告宣伝
- 放送、出版、音楽、ゲーム
- 医療、ヘルスケア

## 新しい日本の姿

- 「不安」「不安定」が増していく日本社会
- 行き詰る日本の財政、「リセット」から再出発へ
- 次世代産業への転換、「ものづくり」ビジネスのアップデート
- 「クラウドロニクス」を前提とする社会制度へ
- 「アナログ」能力重視へ
- 「日本人」の再定義

## 価値観・ライフスタイルの変化

- デジタル・ライフスタイル
- 社会の階層化、「ファーストクラス」の出現
- 消費の超多様化、「自分らしさ」の追求

## 21世紀の経営戦略・ワークスタイル

- 「大企業」の概念が変わる
- 人工知能やロボットの活用を前提とするビジネスモデル
- サブスクリプション、シェアリング
- 求められる人材が変わる
- 短期間で巨大な新事業が生まれる時代へ

## 2035年までのシナリオ

- 2035年までの大きな流れ
- 2025年のイメージ
- 2030年のイメージ
- 2035年のイメージ

## 第3章 社会・経済・環境

## 世界人口・世界経済

- 世界人口
- 人口動態から見る主要国の将来見通し
- 同時並行で進む「都市集中」と「分散」
- 世界 GDP の見通し
- 主要国一人あたり GDP
- 2つに分かれる世界市場

## 食料・資源・エネルギー

- 食料
- 水資源
- 鉱物資源の偏在、困り込み
- エネルギーの世界的転換
- 地球温暖化から「サステイナビリティ」へ

## 国際政治・国際社会

- 絶対的リーダーを降りた米国～自由貿易の終焉
- 中国の「デジタルシルクロード」戦略、後を追うインド
- 主要地域の今後の見通し

## 第4章 テクノロジー

コンピューティング、ネットワーク、セキュリティ  
人工知能、デジタルサービス、開発プラットフォーム  
IoT デバイス、エレクトロニクス部品、半導体  
モビリティ、ロボット  
エネルギー、環境、資源  
食料、バイオ、有機材料  
医療、医薬品、ヘルスケア

## 第5章 産業・ビジネス

## クラウドロニクス・サービス産業群

- クリエイティブ・エンタメサービス産業
- 金融・決済サービス産業
- 小売・流通サービス産業
- モビリティ・ロボットサービス産業
- エネルギー・生活サービス産業
- 食料・バイオサービス産業
- 医療ヘルスケア・ビューティサービス産業

## 社会基盤産業 (1) - ファンダメンタルズ

- 建設、住宅建築
- 有機材料、化学
- 無機資源、鉱業

## 社会基盤産業 (2) - パブリックドメイン

- 主要穀物
- 水 (上下水)
- 電力通信インフラ

## 社会基盤産業 (3) - パブリックサービス

- 行政
- 教育
- 防衛
- 宇宙

## 第6章 価値観・ライフスタイル

## 日本の社会環境

- 総人口ならびに年齢構成
- 平均寿命
- 出生率、出生数
- 婚姻数、晩婚化
- 労働人口
- 外国人と暮らす社会
- 変わりゆく「家族」のかたち

## 日本の政治・経済

- 国家財政のゆくえ
- 「アベノミクス」からの転換
- 「小さな政府」から「責任ある政府」へ
- 「ミニマム・ライフ・アシアランス」
- 「デジタル JAPAN」～電子政府への刷新
- 国土再設計～コンパクト JAPAN、地方分権

## マーケット・生活スタイル

- お金、買い物
- 仕事
- コミュニケーション
- 食生活
- ファッション
- 旅行、娯楽
- 住居・コミュニティ
- 終活、葬儀

## 第7章 企業経営

## 経営戦略

- 持続的な価値創出、新事業の創造
- エンゲージメント
- インフルエンサー・マーケティング
- スーパーリージョナルか、マルチナショナルか？
- ビジョン、リーダーシップ
- サステイナブルな経営

## ワークスタイル

- ワークスタイルの多様化
- クリエーションとイノベーション
- ビジネス・プロデュース

## 第四次産業革命「クラウドロニクス」のゆくえ

Windows や Macintosh の登場を超える、コンピューティングの革命が今起きている。  
これによって、世界のカタチから、産業の枠組み、ビジネスの前提やルール、  
ライフスタイルや 価値観、そして経営戦略まで変わろうとしている。

私たちは今、人類がこれまで経験してきた中で、最も大きな産業革命の真ただ中にいる。

### 人工知能

人工頭脳とは、文字通りデジタルの【頭脳】である。クラウドロニクスでは、データセンターが基盤になることで処理能力が飛躍的に向上する上に、人工知能によってコンピューティングは「インテリジェンス」なものへと生まれ変わる。

これからの時代、「いつでも」「どこでも」「誰でも」人工知能が使えるようになる。ネットワークにつながるあらゆる電子機器で AI アシスタントが搭載され、家庭でも職場でも屋外でも自動

車の中においても、AI が常に共にあるということだ。そして人工知能が状況を自動的に判断し、人間を常にバックグラウンドからサポートしてくれるようになる。

人工知能は、生活やビジネスのあらゆる場面で「デジタル」領域を担うようになる。人工知能の存在はライフスタイルやワークスタイルの新しい前提となる。

### ロボット

「ロボット」は、「人工知能」と「メカ・エレ」が合体したものである。それは、これからのコンピューターは【手足】を持ち、物理的な作業ができるようになるということだ。人工知能は範囲は限定的ながらも、高度で正確な判断ができるため、自律的な行動が可能になる。そして、人間に代わってロボットは様々なオペレーションを代行するようになる。人工知能の急速な進化とともに、ロボットはオモチャでも SF でもなくなる。

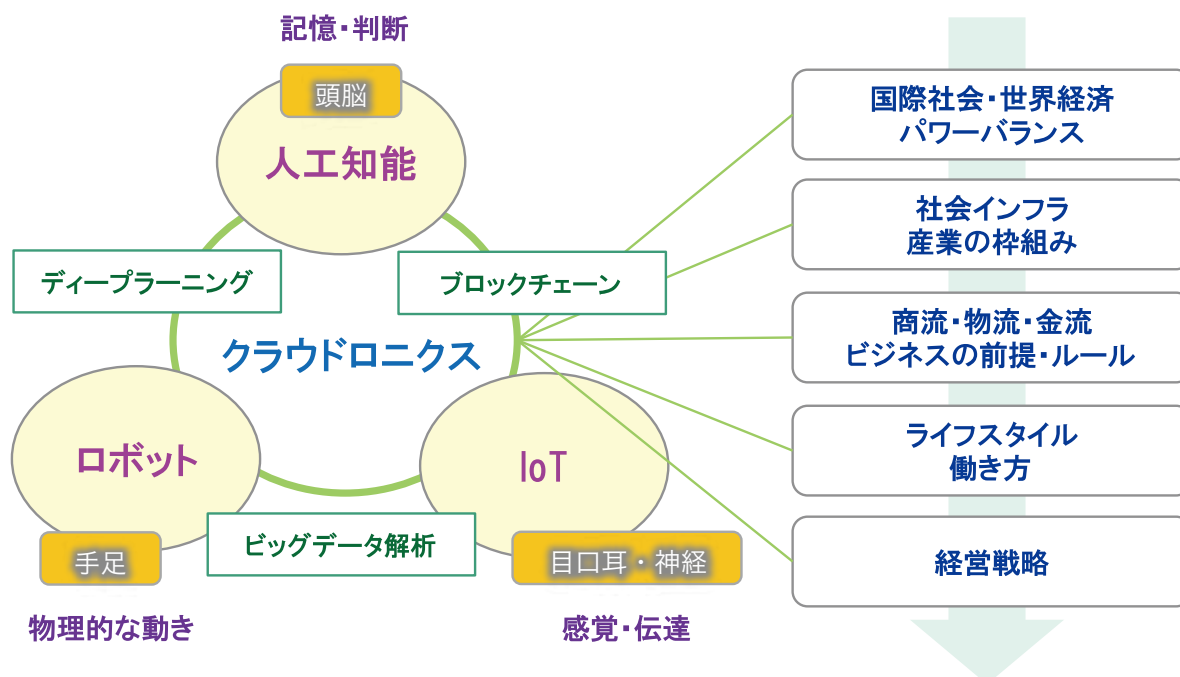
### IoT

IoTとは、これからのコンピューターが【神経】や【目口耳】を持つことを意味する。神経とはセンサーである。そして目は CMOS、口はスピーカー、耳はマイクである。これらにネットワークがつながり、世界中に網の目のように張り巡らされるようになる。その数は 2035 年には数十兆という途方もない数になるだろう。そしてそれによって、世界中どこでも、いつでも、誰でも、ピンポイント/双方向でつながる環境ができる。

### ゲーテンベルクの活版印刷を超える情報流通革命、「ハイパー・メッシュネットワーク」

クラウドロニクス世代のネットワークは、「超」高速＝「ハイパー」であり、そして毛細血管のような網の目＝「メッシュ」を形成する。本レポートではこれを「ハイパー・メッシュネットワーク」と呼ぶ。印刷で表現できるのは静的なものだけであり、紙を使った流通は物理的な制約が大きい。それと比べて、デジタル情報は複製も簡単であり、文字や図形、写真はもちろん、音声、

映像、ゲームなどの動的コンテンツ、さらには「体験」さえ情報として流通させることができる。さらにデジタル情報の流通にかかる直接原価は限りなくゼロに近い。それが超高速ブロードバンドによって、世界中どこでも、瞬時に流通できるようになるのである。ハイパー・メッシュネットワークは、ゲーテンベルクの活版印刷によるインパクトを超える「情報流通革命」をもたらす。



## クラウドロニクス・サービス産業群



## 社会が変われば、求められるビジネスも変わる

コンピューターはもはや事務機器でもネット情報端末でもない。  
「人工知能+「スパコン」」がデジタルサービスとして提供されるようになり、  
あらゆる産業の基盤になっていく。

どの業界もコンピューティングを抜きに、10年先・15年先の未来を描けなくなっている。

自動車、エレクトロニクス、放送、出版、電力、通信、銀行、小売、農業、医療など、社会には様々な産業や業界がある。だがこれらは、20世紀の社会が作ったものである。社会が変われば、求められるビジネスもまた変わる。それは産業の枠組みまで含めて変わるといことである。

これからの社会で中核となるのは、データセンター / 人工知能を中心として、デバイスやセンサー、ロボット、超高速ブロードバンド、様々なデジタルサービスが一体化した「クラウドロニクス産業」である。

そして、これを基盤として様々な産業が「デジタルサービス」化するとともに、それぞれの領域が重なり合い、境界が曖昧になっていく。

デジタルサービス化する産業分野は大きく分けて、エネルギー・生活、モビリティ・ロボット、金融・決済、食料・バイオ、医療ヘルスケア・ビューティ、小売・流通、クリエイティブ・エンタメの7つである。

そして全体としては「クラウドロニクス・サービス産業群」と呼ぶべき、巨大な新産業を形成していく。

### 著者紹介

株式会社アクアビット  
代表取締役 チーフ・ビジネスプロデューサー

田中 栄

1990年、早稲田大学政治経済学部卒業。同年、(株)CSK入社、社長室所属。CSKグループ会長・故・大川功氏の下で事業計画の策定、業績評価など、実践的な経営管理を学ぶ。1993年、マイクロソフト(株)入社。WordおよびOfficeのマーケティング戦略を担当。1998年、ビジネスプランナーとして日本法人の事業計画立案を統括。

2003年2月、(株)アクアビットを設立し、代表取締役役に就任(現職)。2015年5月～2019年4月、KPMGあずさ監査法人 総合研究所 顧問を兼任。「未来予測レポート」シリーズの著者。エレクトロニクス、自動車、エネルギー、医療、食料など、幅広い分野を横串で将来を予測。北海道札幌市出身、1966年生まれ。



## 「未来予測」は、新ビジネスを具現化する

「未来予測レポート」は、“教養のための本”や“調査報告書”ではありません。  
 「未来予測コミュニティ」には本レポートを理解して、新しいビジネスを志す人たちが集まってきます。  
 そしてここから様々な新ビジネスが実際に生まれています。  
 「未来予測」には、新しいビジネスを具現化するための仕組みが用意されています。



未来予測レポート



未来予測デジタルサービス



未来予測年表

### チャンスとリスクの気付き・共通認識

「未来予測」では、「クラウド・コンピューティング」「サステナビリティ」「ライフ・イノベーション」といったメガトレンドの変化を中核として、社会環境やテクノロジー、ビジネス、価値観、ライフスタイル、経営戦略がこれからどのように変わっていくのか?を提示しています。

今起こっているのは「革命」であり、かつて経験したことがないような大きなチャンスとリスクが広がっています。そしてこれは“修正”レベルで対処できるものではありません。これを超えるためには、全社一丸となつてまずこの変化を理解し、事業戦略を抜本的に見直す必要があります。

「未来予測」は、紙とデジタルの両方で情報提供することで、未来で予測される変化について短期間のうちに「共通認識」をつくることができます。そしてこれが、中長期戦略や新ビジネスを議論するための出発点となります。

### 社外に「同志」を見つける

「未来予測コミュニティ」は、“勉強会”や“異業種交流会”ではありません。新ビジネスを本気で「やりたい!」という想いを持つことを共通項とする人たちが集まっています。

しかしながら、参加者は業界も立場も年齢もバラバラです。そんな人たちが会話をするために、「未来予測」を“共通のプロトコル”と位置付けています。そのため、参加者は原則として「未来予測レポート」導入企業に限定しています。

「未来予測コミュニティ」は4か月に一度、定期開催しており、「同志」を探す場としています。ここではFace to Faceのコミュニケーションを大切にしています。新しいビジネスを一緒にやるためには、何度も顔を合わせ、いろんな話をして、信頼関係を作ることが大切と考えるからです。



未来予測  
コミュニティ



### 個別・具体的に、より深く話し合う

#### 分科会

- ・医療ヘルスケア分科会
  - ・食の分科会
  - ・宇宙分科会
- など

(NDA ベース)  
2社間・個別検討

業界を超えて人がつながり、新しいビジネスが生まれる

# 未来予測2035

## レポート&デジタルサービス

「未来予測レポート」は、中長期戦略立案や新規事業を考える際に、その前提となる「将来予測」と「変化のシナリオ」を提示することを目的としています。中長期戦略の立案や新規事業は一人ではできません。10年先、15年先という長期レンジで、「世の中」がこれからどう変わっていくか?という「共通認識」をしっかりと持ってこそ、メンバーの間で「では、これからどうすべきか?」という議論が可能になるのです。大手企業を中心にシリーズ累計で1,600社以上に導入実績があり、業種・業界を超えた将来シナリオとして幅広く使われています。前バージョン「2015/2018-2030」は大変好評を頂き、経済産業省や産業技術総合研究所をはじめ、特に

クラウドロニクス分野については、総合エレクトロニクス、自動車、放送・通信、半導体・センサー、データセンターなど主要企業のほとんどに導入を頂くことができました。未来予測レポートは、紙のレポートの他、専用Webサイト「未来予測デジタルサービス」にて、デジタルでもコンテンツを提供しています。ネットからアクセスして読むことができますので、戦略議論のための「共通認識」をすばやく作ることができます。データは社内文書などでも活用できます。「未来予測2035」より、デジタルサービスをメインとします。レポート発刊後、4年間はコンテンツのアップデートを継続して行い、最新の情報を提供します。

## 未来予測2035

### レポート&デジタルサービス

価格 500,000円 (税別)

#### 【セット内容】

未来予測デジタルサービス*	アクセス権 <a href="https://www.miraiyosoku.net/">https://www.miraiyosoku.net/</a>
未来予測2035 (レポート)	A4版 1セット (2分冊)
未来予測年表2035	A0版 1枚
未来予測コミュニティ	参加資格

※ 未来予測デジタルサービスでは本レポートの全文 (図版入り) を掲載しています。導入企業に所属される方は何名でも法人会員としてご利用いただけます。



■記載内容は2020年6月末現在のものです。 ■商品およびサービスの仕様や価格などは予告なく変更することがあります。

このほか、セミナーや中長期戦略立案・新規事業創出支援など関連サービスも用意しております。お申し込み・お問い合わせは、営業担当窓口、もしくは弊社まで直接ご連絡ください。

販売窓口



株式会社アクアビット [www.aquabit.co.jp](http://www.aquabit.co.jp)

〒165-0026 東京都中野区新井1丁目12-14 秀光建設本社ビル 3F  
TEL : (03) 5318-1488 E-mail : [info@aquabit.co.jp](mailto:info@aquabit.co.jp)